

2022.10.3

支 部 通 信

No 82



長野県電気工事業工業組合長野支部
合同会社 長野電気引込工事センター

目 次

				ページ
1	Top Message	支 部 長	大田 敬壹	----- 1
2	ご 挨拶	中部電力PG(株) 飯山営業所 所長	小山 如信	----- 2
3	地 区 だ よ り	須 高 地 区	湯本 栄二	----- 3
		更 埴 地 区	蟹澤 佳治	----- 5
		長 野 西 地 区	伊東 敬晃	----- 6
		長 野 東 地 区	町田 幸司	----- 8
		中野・飯山地区	村石桂太郎	----- 10
4	技能オリンピック大会	開校式・披露会	蟹澤 佳治	----- 11
5	フ リ ー ト ー ク	長 野 東 地 区	黒柳 幹成	----- 13
		中野・飯山地区	山浦 克人	----- 14
		須 高 地 区	藤澤 輝樹	----- 15
		長 野 西 地 区	宮下 幸夫	----- 16
6	中部電力パワーグリッド株式会社	異 動 報 告		----- 17
7	センター事務所移転のお知らせ			----- 18
8	編 集 後 記	総 務 委 員	久保田雅史	----- 19

(敬称略)

♪ 表紙写真 ♪

「山ノ内町竜王マウンテンパークからの夕陽、雲海を望む」

世界最大級のロープウェイで8分間の空中散歩。標高1,770mのSORA terrace (ソラテラス)は四季を通して、雲海や夕焼け、夜になれば満天の星空と、色彩豊かな「空」と「自然」を感じる事ができます。雲海と夕日が織りなす幻想的な世界は、訪れた人にしか味わえない特別な空間です。

※写真正面の山は高井富士。

写真撮影：湯本 栄二 様



支部長 大田 敬 壹

平素は長野県電気工事業工業組合長野支部並びに長野電気引込工事センターの活動・運営に暖かいご指導とご理解を賜り、心から御礼を申し上げます。

3年ぶりに長野支部と引込工事センターの両総会が開催できました。懇親会は残念ながらコロナ感染警戒レベル4の引き上げもあり、中止せざるをえませんでした。久しぶりに顔を合わせる機会ができたことに大変感謝しています。

また、8月には恒例の電気使用安全月間のボランティア活動があり、各地区の役員様、中部電力様、保安協会様のご協力とご苦勞により、今年も活発な活動ができましたことに改めて感謝を申し上げます。特に長野西東地区の善光寺でのボランティア活動では、多くのテレビ・新聞の取材とその報道により、組合の社会活動のPRということでは、大きな成果があったものと考えています。

ただ、5月に残念ながら長野電気引込工事センター管内で、「はしご」から転落する人身災害が発生してしまい、事故審議会・制裁等を通して、中部電力様を始め、多くの会員の皆様、専門班・都度班様には、工期延長のお願いなどを含め、多大なご迷惑をお掛けしました。その制裁期間中には、当センターの運営が大変厳しい状況に陥りましたが、それを乗り越えられたのも関係の皆様全員のご協力があったお陰と、改めて御礼を申し上げます。しかし2月に他センターでも同種事故が発生していたこともあり、県協会では共同受注業務規程などの再確認・見直しに迫られ、従来から既定の不明瞭だった部分の明瞭化が検討されました。それに対して、会員の皆様や役員の皆様からは、多くのご意見とお叱りを頂きましたが、交通事故などと同様に、ひとつ事故があると規制は段々と厳しくなってしまいます。何卒ご理解を頂きますようお願い申し上げます。

今年は、電気会館の解体に伴い、引込工事センターの事務所移転が決まりました。センターの移転先については、10月にご案内できると思いますが、暫くの間、ご不便をおかけすることになりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(余談) 今年は、当初から移転問題、事故を含め、個人的にも「無理難題」が雨霞のように次から次へと降り掛かってきて、それにかまけているうちに、いつの間にか秋風の季節になっていた。そして先日、夜更けに「十五夜の月」を眺めていたらふと思った。「人生は、坂の上の雲」、掴もうとすると消えてしまう。



ご挨拶

中部電力パワーグリッド株式会社

飯山営業所長 小山 ゆきのぶ 如信

秋麗の候 会員の皆さまにおかれましては、益々ご盛栄のこととお慶び申し上げます。また、平素は、弊社事業運営に格別なるご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、7月1日の人事異動により、飯山営業所長として着任いたしました小山如信でございます。微力ではございますが、皆さま方のご発展のため精一杯ご支援させていただきますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、弊社は昨年度、燃料価格高騰に伴う電源調達コストの増加や、電源受給調整にかかる費用の増加等により、2013年以来8年ぶりの赤字となりました。また、来年4月からは一般送配電事業者における必要な投資の確保（送配電網の強靱化）とコスト効率化を両立させ、再エネ主力電源化やレジリエンス強化等を図ることを目的に「新たな託送料金制度（レベニューキャップ制度）」が施行されます。

弊社は、これまで以上にかいぜん活動の推進やシステム化等による業務改革、サテライトオフィスや在宅勤務の利用促進等による効率的な働き方の推進等により、業務の徹底的な効率化と生産性の向上を進めてまいりますので、引き続き、引込線・計器工事を主体とする電力託送事業および、スマート子メーター等のコミュニティサポート事業について、変わらぬご協力をお願い申し上げます。

また、今年は「第37回引込および内線工事技能オリンピック大会」が開催されます。先日、技能披露会を拝見させていただき、猛暑の中、3名の選手が安全を最優先に品質高い設備を作り上げるため、一生懸命、競技に取り組む姿を見て、非常に頼もしく感銘を受けました。これまでの練習や事務局のみなさまの支援の成果であると感じた次第でございます。これは、歴代、長野支部・センターの諸先輩方の精神や技術が確実に受け継がれている証であり、これからも末永く安全で高品質な工事をよろしくお願い申し上げます。合わせて、オリンピック大会での優秀な成績をご祈念申し上げます。

最後になりますが、新型コロナウイルスの出口が未だ見通せない状況において、近年、猛暑や豪雨など、これまでの経験を超える気象状況が続いています。特に現場で働く従業員のみなさまにおいては、マスクの着用、熱中症・ハチ刺され等への対応など、心身共に負担を強いられる状況であります。改めて、会員の皆さま方をはじめご家族さま、従業員の皆さまの安全と健康、また、益々のご繁栄とご健勝をご祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。



**須高地区**

臥竜公園街路灯の点検・清掃 そして啓発活動

須高地区長 湯本 栄二

電気安全使用月間に伴う活動を 今年も中部電力パワーグリッド株式会社長野営業所宮澤所長様はじめ7名の所員の皆様のご協力のもと 地区会員(教育厚生員会)9名の参加により総勢16名で8月23日須坂市臥竜公園内にある街路灯設備の配線診断・盤内点検・灯具の清掃作業・広報車による電気的安全使用啓発活動を行いました。年に1回この時期に行うこの活動ですが今年で12回目となりました。例年のごとく今年も猛暑の中での作業となりました。

配線診断は4人で街路灯分電盤内の絶縁抵抗測定及び不点調査を行い 街路灯清掃は5人が2班に分かれ公園内の池の周辺にある街路灯の清掃作業を行いました。広報班においては



2人が中部電力パワーグリッド様の広報車をお借りし 若穂地区→須坂市内→高山村→小布施町の順に回りました。

今回は街路灯のタイムスイッチの故障が1箇所確認されただけでしたが 地域の方々から作業中の私たちに「暑い中ご苦労様」とお声掛けをいただき 臥竜公園管理事務所の中澤所長様からは「夕方暗くなる時間でも人が多く行きかう場所である為 地域の皆さんにとっても この活動はとても助かります。」との感謝のお言葉をいただき 私は改めてこの活動が 私たちと地域の方々を結ぶ交流の場になっている事 地域貢献に繋がっている事を感じた 12回目の活動でした。

最後になりましたがご協力いただきました皆様には感謝と共に御礼申し上げます。



9月6日

電気新聞

に掲載



臥竜公園で配線診断や外灯の清掃を行った

PGなど 外灯用配電盤を確認

長野 安全月間 須坂市の臥竜公園で

中部電力パワーグリッド(PPG)長野営業所の(宮澤征爾所長)は、このほど、長野県須坂市で、

中部電力パワーグリッド(PPG)長野営業所の(宮澤征爾所長)は、このほど、長野県須坂市で、配電盤の確認や電圧調整を行ったほか、外灯の清掃を行った。

配電盤の確認や電圧調整を行ったほか、外灯の清掃を行った。

使用安全月間の活動の一環として8月23日に行なった。長野県電気工業組合須坂支部須坂地区と長野県電気工業協力会(長野市、百瀬正容代表取締役)が主催し、今回で12回目。合わせて16人が集まり、4班に分かれて作業に当たった。また、須坂市内などを広報車で巡回し、電気安全で上手な使い方についてのPRも行った。

臥竜公園は早朝や夜間にも市民が散歩やランニングなど利用している。長野県電気工業組合須坂地区の湯本栄一地区長は「地域に貢献できる良い取り組みだ。今後も続けていきたい」と話した。

臥竜公園管理事務所の中澤雄二所長は「市民の皆さまに安心してご利用頂ける」と感謝の意を表した。

“やわたの神社”点検清掃

更埴地区長 蟹澤 佳治

更埴地区



電気使用安全月間の配線診断の時期が近づき配線診断をさせてもらう場所探しをしなくてはと思い更埴地区の役員にも協力をお願いしたところ武水別神社さんが協力いただけると役員から連絡をもらい 2 人をお願いに行きました。建物の中は貴重なものがたくさんあるので、建物内の停電点検、清掃は出来ないとの事でしたが、外灯や引込開閉器盤の点検清掃をさせてもらう事にしました。

武水別神社は厄除、開運、勝負事の神様として広く知られています。自動車のおはらいや交通安全祈願で丸いステッカーも目にしたことがあるかと思います。



当日は地区会員 12 名と中部電力篠ノ井営業所さんからも 2 名の協力をいただき、14 名により外灯の清掃や引込口、引込開閉器盤周りの目視点検を 3 班にわかれて神社内を回り点検、清掃をしました。外灯の周りには蜘蛛の巣や虫がたくさんついていましたが、清掃してきれいになりました。点検、清掃が終わり神社の方に挨拶に行ったら、大変喜ばれ人数分のお守りとおせんべいを

頂きました。武水別神社さんにおかれましては地区事業にご理解と協力していただきありがとうございました。

今年は暑いので参加者みんなで屋代の一松亭に集合し、冷たいお蕎麦を食べて解散となりました。参加された皆さんご協力ありがとうございました。



国宝善光寺本堂および 境内の電気設備の 点検と清掃 他

長野西地区



長野西地区長 伊東 敬晃



日頃は、地区の運営にご協力をいただきありがとうございます。毎日酷暑の日々が続きますが、皆様いかがお過ごしでしょうか？

さて、今年も経済産業省の主唱により8月1日から31日までの1カ月間「電気使用安全月間」として電気を安全に使用するための啓発活動を行い、今年で16回目と恒例になりました『文化施設 国宝善光寺本堂および境内

の電気設備の点検と清掃』を長野西・

東地区合同で実施いたしました。当日は久しぶりの晴天が予想され、高温多湿の中での作業で熱中症が心配される中、地区役員をはじめ、中部電力PG(株)長野営業所様、中部電気保安協会長野営業所様の協力の下、総勢28名が6班に分かれ、今年は高所作業車2台体制で作業を行いました。また、今年もコロナ禍での開催となり、暑い中ですが全員マスクを着用し、手指消毒を徹底して作業を行いました。開会式の後、中部電力PG様より差し入れて頂いたお茶と熱中症対策タブレットを各自手にして持ち場に分られました。境内各所にある外灯は、はしごを使い点検・清掃し、本堂周りの車両が入れるところは高所作業車にて行いました。本堂内や売店の照明器具は脚立を使い、参拝客などの周囲の安全に気を遣いながら点検・破損個所の確認をし、清掃をしました。本堂内は普段、写真撮影はできませんが、善光寺様の特別な許可・立会いの下、作業の状況を記録することができました。また、善光寺の営繕部長様には、『毎年ボランティアで行ってら



ってありがたい、今後もぜひ続けていって欲しい』とお言葉と御供を頂戴しました。長野のシンボルであり、また今年のご開帳が行われた善光寺境内で実施することにより、例年になく多くのテレビ局・新聞社の報道各社が訪れ熱心に取材をされ、ニュースや新聞紙面に取り上げてもらい、電気使用安全月間の趣旨でもある「電気の安全で上手な使い方」を一般のお客様に向けてPR出来たと思います。酷暑の中、作業にあたってくださった皆様、ありがとうございました。

今年は久しぶりに電気使用安全月間の反省と懇親を兼ねて夕刻より懇親会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス第7波襲来により今年も開催することができず、作業後お弁当をお配りするのみとなり、申し訳ありませんでした。

話題は変わりますが、6月29日に第9回長野西・東地区合同親睦ゴルフコンペが長野京急カントリークラブで開催されました。中部電力PG(株)長野営業所から宮澤所長はじめ4名、中部電気保安協会から梨元所長はじめ2名、各メーカー、電材店、地区会員の皆様総勢35名が参加しました。栄えある優勝は中部電力PG(株)長野営業所宮澤所長で昨年秋の第8回コンペからの2連覇となりました。おめでとうございます。コロナ禍となり前回まではプレイ後会場で表彰のみ行ってきましたが、感染状況が落ち着いていたことから、久しぶりに場所を移して賑やかに表彰式を行いました。秋も親睦ゴルフコンペを開催したいと思いますので、皆様の参加をお待ちしております。

一昨年より新型コロナウイルス感染拡大が続き、地区運営が思うようにできておりませんが、ご理解・ご協力をいただきたいと思います。また、委員会制を導入し役員のみとなりがちだった活動から全員参加の運営に切替をしています。会員の皆様に参加いただくわけですが、一年が経過し順調に実施できていると思います。ご意見を頂戴し改善していきたいと思いますのでよろしくお願い致します。

引込センターについてですが、ご存じの通り他センターで剪定脚立からの転落災害がおき、続いて5月に長野引込工事センター専門班によるはしごからの転落災害が起きました。7月26日に集合教育を行い皆様に周知したところではございますが、他人事とはせず、作業員全員に我が事としてもらいたいと思います。また、短絡停電事故、ランク外工事も発生しております。皆様もここでもう一度、自社のランクでの可能な作業や連絡体制を振り返り、ルールを逸脱した行動がないか、確認をお願いします。

まだまだ暑い日も続き、これからは台風シーズンとなります。コロナウイルスも未だ猛威をふるっております。皆様、自分の身の安全を確保し、作業に留意してください。



二連覇の長野営業所宮澤所長

長野東地区



長野東地区長 町田 幸司

支部通信第82号発行にあたり、ご協力いただきました会員様には大変感謝いたします。続く新型コロナ感染症の影響でほぼ全ての支部行事の中止・延期・変更となり緊急事態下の中での生活がいかに大変かと実感した一年でした。まだ緊張する日々が続きますが、頑張りましょう。

緩和されつつある中、ついに我慢できずに旅行に出かけた私の夏休みについてレポートします。今回の旅行は比較的近くの岐阜県飛騨高山方面に出かけました。

飛騨
高山

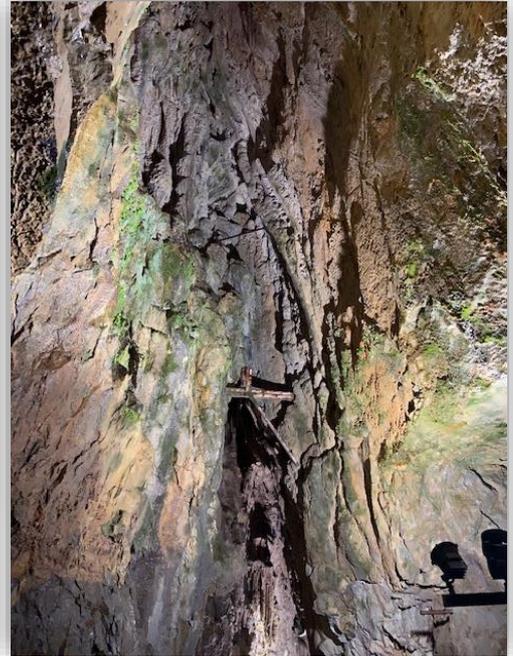
を
旅
する



目的の一か所目、涼を求め趣味でもある滝見学です。『平湯大滝』ではマイナスイオンを十分に浴び、心身共に癒されました。休み前に大変だった事を全て流してしまいたいと一瞬考えてしました。

二か所目は自然の神秘、幻想的な世界を見学に『飛騨大鍾乳洞』です。日本一の標高900mに位置し、気温は15度程度の空間なので涼しく膨大な時間と大自然が作り上げた驚異の芸術空間を十分に堪能しました。《夢の宮殿》《国会議事堂》《ナイアガラの滝》など数々の自然の芸術品がありますが評価はお任せします。





三か所目は『高山市街の古い町並み街道』です。リノベされたとは言え統一感のある素晴らしい町並み、そして特に飛騨牛5Aは最高でした。特に牛のひつまぶしはおススメです。和を大切にしている今風のスイーツも沢山あり食べ歩きには十分満喫しました。



まだまだ先の見えない大変な日々が続きますが、後半戦も無事故・無災害そして無断工事の撲滅に皆様のご協力宜しくお願い致します。



高野辰之記念館 電気設備の点検と 清掃活動

中野・飯山地区

中野・飯山地区長 村石 桂太郎

中野・飯山地区では、8月の電気使用安全月間において、昨年度と同様に中野・飯山地区内にある有名な文化財の一つに唱歌「故郷」を始め、「朧月夜」「春の小川」「春が来た」「紅葉」等を作詞した明治～大正時代の国文学者の高野辰之が生まれ育った地にある資料館、「高野辰之記念館」の電気設備の点検と清掃活動をしました。

当日は地区役員、中部電力パワーグリッド飯山営業所配電課様、中部電気保安協会中野営業所様合わせて15名の体制で行いました。地区会員は館内の高さ4m上部にある照明にたまったほこりの除去や蛍光管の交換、エアコンのフィルタやシーリングファンの清掃、外部照明やトイレの照明・換気扇の点検と清掃を実施しました。中部電力さんは引込線、計器の損傷などのチェック、中部電気保安協会さんには配電盤の漏電の確認をして頂きました。高野辰之記念館の小林副館長様から高い所の照明器具など今まで清掃ができなかった所を清掃して頂いたことに大変に感謝されました。

今年は忙しさに紛れて、昨年と同じ「高野辰之記念館」の電気設備の点検と清掃活動でしたが、中野市には「中山晋平記念館」「中野陣屋跡」、飯山市には「正受庵」「飯山城跡」等の文化財があるので、そのような所も今後やっていければと思います。



うさぎ追いかの山
小鯛つりしかの川
夢はいまもめぐりて
忘れがたき 故郷

いかにいます父母
恙なしや友がき
雨に風につけても
思いつく 故郷

ころざしを果して
いつの日にか帰らん
山はあおき 故郷
水は清き故郷

故郷

作詞 高野辰之
作曲 岡野真一

第37回引込および内線工事 技能オリンピック大会

更埴地区長 蟹澤 佳治

9月に第37回引込及び内線工事技能オリンピック長野県大会が開催される。5年前に更埴地区で出たばかりなのだが・・・更埴地区の番です。まずは出場していただける会社さんを決めなくてはいけない。協力してもらえるのか不安だったが、3社さんをお願いしたところ快く請けて頂けた。

7月11日に『第37回引込及び内線工事技能オリンピック県大会 開講式』を長野Uスタジアムの会議室で行った。出場選手3名、選手を出して頂いている店主様、中部電力パワーグリッド(株)長野、飯山、篠ノ井営業所様、中部電気保安協会様、長野電気引込工事センター役員の皆様に出席をしていただき、総勢35名での開講式を行うことができた。

翌週から訓練を始めました。最初のうちは選手どうして話をしているのもぎこちなく距離が感じられたが、2週間目ぐらいになるとお互いに提案、指摘が会話の中で出てくるようになった。8月にはいると、大会に向け選手3人がチームになった。8月からは実技課題も時間内でこなせるようになってきて、さらに時短をめざすための話し合いが見られた。第1回披露会当日の朝、やはり選手の表情はかたかった。誰でも人から見られていると緊張する。9時40分競技開始、今年から連合大会に合わせた課題で時間も110分とした。見られている緊張の中、作業は進み今まで訓練してきた事は出せていたと思う。時間内ぎりぎりではあったが、お客様への報告までできた。披露会終了後、選手たちは中部電力さんと選手3人で見て下さった方からの講評について改善策を話し合っていた。9月8日の2回目の披露会、15日の県大会ではさらに成長した選手が見られると確信した。



長野県大会まであと半月、別々の3社3人で知恵を出し、協力し同じ目標に向かうチームが9月15日の第37回引込及び内線工事技能オリンピック長野県大会に出場する。緊張するとは思いますが、身に着けた技術、チームの力を出し切れるサポートをし、選手3人の成長したかっこいいところを目に焼き付けて来たいと思う。

※15日の大会に於いて長野センターチームは「準優勝」。連合会大会への出場を決めました。



開 講 式

7月11日 Uスタジオ



技能披露会

8月24日

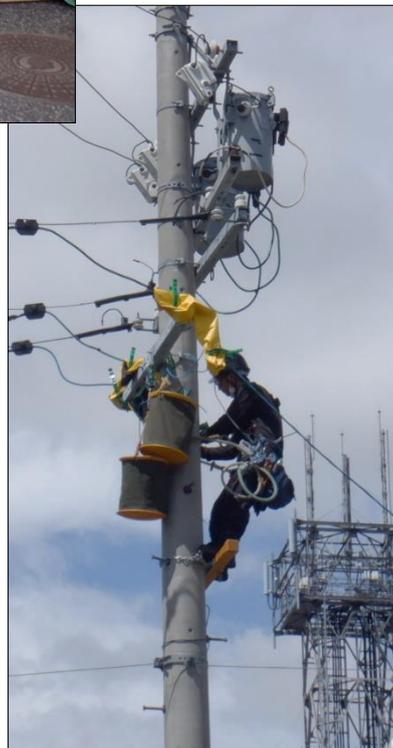
中部電力 PG(株)篠ノ井営業所

出場選手 向って左から

五十嵐和敏さん

小山正明さん

丸山慎一さん



長野支部版 / スピーカーズ・コーナー



● 腰道具、腰袋にあるもの

長野東地区 黒柳 幹成（有限会社 飯綱電業）

今回初めてフリートークなるものを書かせていただきます。最初にお話を受けた時はまだ8月の初めで、お盆休みもあるからと引き受けたのですが、その休み中も家の用事や残った仕事の整理などをしていたらあっという間に終わってしまいました。おまけに文章を書くという作業は、いざやってみるとこれが意外に難しいです。起承転結という言葉 最後に教わったのはいつの頃のことだったか……さっぱり思い出せません。とりあえず何を書こうか悩んだ末、腰道具・腰袋にあるものについて書こうと思います。

腰回りの道具は業種によって差しているものが違いますが、その人その人の経験や経緯、性格のようなものが表れてる気がします。自分が電気工事を始めた最初はドライバーとペンチとナイフ。持つものが軽かったです。年数が経つにつれいろいろな道具が付属されてすっかり重くなりました。今年度ついにペンドライバーなるものを入れたのですが、これが使い勝手が大変よく、びっくりです。ドライバーの出番がすっかり減ってしまいました。道具の進化って恐ろしいですね。あと何年かしたらペンドライバーのツールで全ネジボルトも切れる日がくるかもしれない、そうなったら絶対買います。

あと自分は腰道具にビスカップをぶら下げています。主な使い方は小さなゴミ箱で、電線の剥いた被覆や包装の袋、ボードの切り粉などを入れています。うちは小さい会社なので細かい仕事が多く、営業中の店



舗へメンテナンスに行ったりお客様がすぐ近くにいる場所での作業があります。仕事をしていると大きいゴミももちろんなのですが、この小さいゴミの扱いというものが意外とみなさん見ているなという印象があります。あとでまとめて片づければ結果は同じなのですが、それでも端から散らかしながらやるよりは多少なりとも片づけながら仕事をするほうが、後からついてくるものが違うような気がしています。

腰袋には常に水平器とミニケーブルキャッチャーがあります。水平器は墨だしの定規に使えるし、配線器具の仕上がりにも使うので絶対外せません。ミニケーブルキャッチャーは天井裏ですぐ目の前に配線があるのに手が届かないという場面でよく使います。むしろそういう場面の方が多い気がします。ただし小さいからよく無くします。現在3代目。最近では電材屋さん以外でもいろいろな道具が手に取って買えることができるので、ごくありがたいです。

夏休みの日曜日

中野・飯山地区

山浦 克人（有限会社 ヤマウラ電工）



夏休み後半の日曜日、小学3年生になる子供が初めての自由研究を大きな方眼紙にまとめていた。懐かしいなあと様子を見てみると、「地域の歴史を調べてみよう」という宿題もあるんだよ、と一言。ならばと一緒に市立図書館へ行ってみることにした。

館内で色々な本を物色しペラペラページをめくっていると中野温泉（湯町）という単語が目にとまる。少し読み進めると江戸時代1820年に上条村（現在の山ノ内町）から旧中野村（中町、西町、東町）に温泉を引き込み、温泉客を相手にした茶屋が開かれ湯町が形成されたそう。へえー、なるほど！と興味がわきしばらく読み進めると、次は間山温泉。ここは平成2年（1990年）に温泉掘削に成功、平成5年（1993年）に保養温泉（ぼんぼこの湯）を建設と記載されていた。この当時私は小学生で開業前は葦簀で仕切った簡易的な脱衣場と浴槽が置かれ無料で入浴できたので、友達とタオル一枚持って学校帰りに立ち寄った事を思い出します。他にも長嶺温泉、もみじ荘等、各施設毎の掘削年数やちょっとしたエピソードが記載されていてとても面白い内容でした。

これから少しずつ寒くなり、温泉が恋しい季節になります。私たち家族は温泉が好きで自家用車の中には日帰り温泉のガイドブックを常備しています。今までは各土地で泉質、施設、景色の違いを楽しみながら体を癒していましたが、歴史背景も頭の片隅に入れながら足を運べばまた違った角度から楽しむことができるのかな？と気づくきっかけを与えてくれた子供に感謝です。有意義な日曜日になりました。



墜落事故の

体験

須高地区

藤澤 輝樹（ラフタ）

本年1月から、フルハーネス型安全帯の使用が義務化となりました。これに伴い、高所作業時の安全対策に、高い意識がもたれるようになってきたと思われまます。私も、だいぶ前のことになりますが、屋根から墜落して痛い目にあったことがあります。

積雪の多い年でしたが、実家の除雪作業のとき、地面をきれいに除雪して、屋根に二段梯子をかけて、屋根の雪下ろしにかかったときです。一旦屋根に登って様子を見て、道具を取りに降りようとしたとき、急に視界がなくなり、自分が何をしてたのかもわからなくなりました。不思議な感じでしたが、落ち着いて自分が何をしてたか思い出そうとしました。

「私は何をしてたんだっけ？確か雪下ろしをしていたよな？」

「何で視界がなくなったんだろう？・・・もしかして、墜落したのかな？」

「そういえば、体がどこにも接していないし・・・あ、いま落下している最中なんだ」
そう気づいた次の瞬間、お尻に全体重をあずけて、4m下の地面にたたきつけられました。さっききれいに除雪したばかりのアスファルトの地面です。仰向けに倒れたまま、冷静に今の状況を整理しようと考えました。意識はあるが、体はとにかく言うことを聞かない、とにかく家のなかに入って、体を温めて、休息しようと思いました。仰向けの体をうつ伏せにするのに30分かかったのでしょうか。それから匍匐前進で、わずかに動く体の部分を駆使しながら、5センチくらいずつ動いていきました。所々に残った、雪や地面の10センチばかりの凹凸を乗り越えるのに四苦八苦して、自分の無力さを痛いほど感じました。

そうこうしているうちに、異変に気付いて、母が家から出てきて、手を貸してくれました。杖を突いた母の手を借りるとは、なんとも情けないものでしたが、何もできない身には、心強く感じました。家の中でストーブにあたってじっとしていれば治ると、この時はまだ信じていたのが、今思えば滑稽ですが、しばらく経って、「これはダメだ」と判断し、救急車を呼びました。

救急車は驚くほど速く到着して、隊員たちはテキパキと作業をこなして、私をストレッチャーに乗せて、救急車に運んでくれ、救急車はあっという間に病院に到着しました。なるほど、いつも路上で救急車に遭遇すると、ハザードを点けて道を空けますが、こち

らがけが人のときは、ありがたいものです。病院では、腰の激痛に耐えながら、あちこちの部署で上になったり下になったりの検査を受け、仙骨等の骨折で、即入院となりました。しばらくは、下の世話も食事も移動も何もかも、人の手を借りないとできず、寝ているだけの生活で、ふつうの日常生活を普通に送れることがなんて幸せなことなだろう、人の役に立って仕事ができることはなんて幸せなことなのだろうと実感しました。

事故は一瞬で起きますが、時間やお金、他にも多くのものを失います。万全の対策を取ったとしても、防ぎきれぬものではありませんが、日常的に危険を伴う仕事をしている私たちは、心して作業に当たりたいものだと思います。



長野西地区 宮下 幸夫

(有限会社 長野寿電設工業)

昨今の新型コロナウイルス感染拡大の関係で、今までのように出歩く機会も少なくなってしまい暇を持て余していたところ、近所で農作業をしている知人に「畑の一角を自由に使っていいよ。」と言っただき、今年の春から家庭菜園を始めてみる事にしました。今までは自宅の庭先でプランター菜園をしていたので、家族が食べるくらいの量しか作れませんでした。今年からは好きな野菜をたくさん植えられる事になり、気分が入りました。

貸していただいた畑は今ではあまり使われていなかったため、まずは肥料をたくさん混ぜて土作りから始めました。おつまみに欠かせない枝豆、孫や自宅で飼っている犬が大好きなトマト、料理に欠かせないじゃがいも、辛いもの好きな我が家になくてはならないぼたん胡椒、そして夏野菜の定番、ナス・ピーマン・きゅうりを植えました。

農家に生まれ幼い頃から農業を手伝っていましたが、実家を離れ 40 数年ぶりに始めた野菜作りで農業の難しさを痛感しました。仕事をしながらの片手間作業では簡単に作れるはずもなく、両親が丹精込めて作っていたものと同じ品種のトマトはあまり甘くなかったり、病気になってしまったりと失敗の連続で、両親の苦労が身に沁みました。昔、飽きるまで食べていたトマトのあの味が懐かしく思い出されます。

まだ家庭菜園を始めて 1 年目、今年の失敗を生かしながら、来年こそは美味しい野菜を作っていきたいと思います。



中部電力パワーグリッド株式会社 7月1日付 人事異動
(関係分)

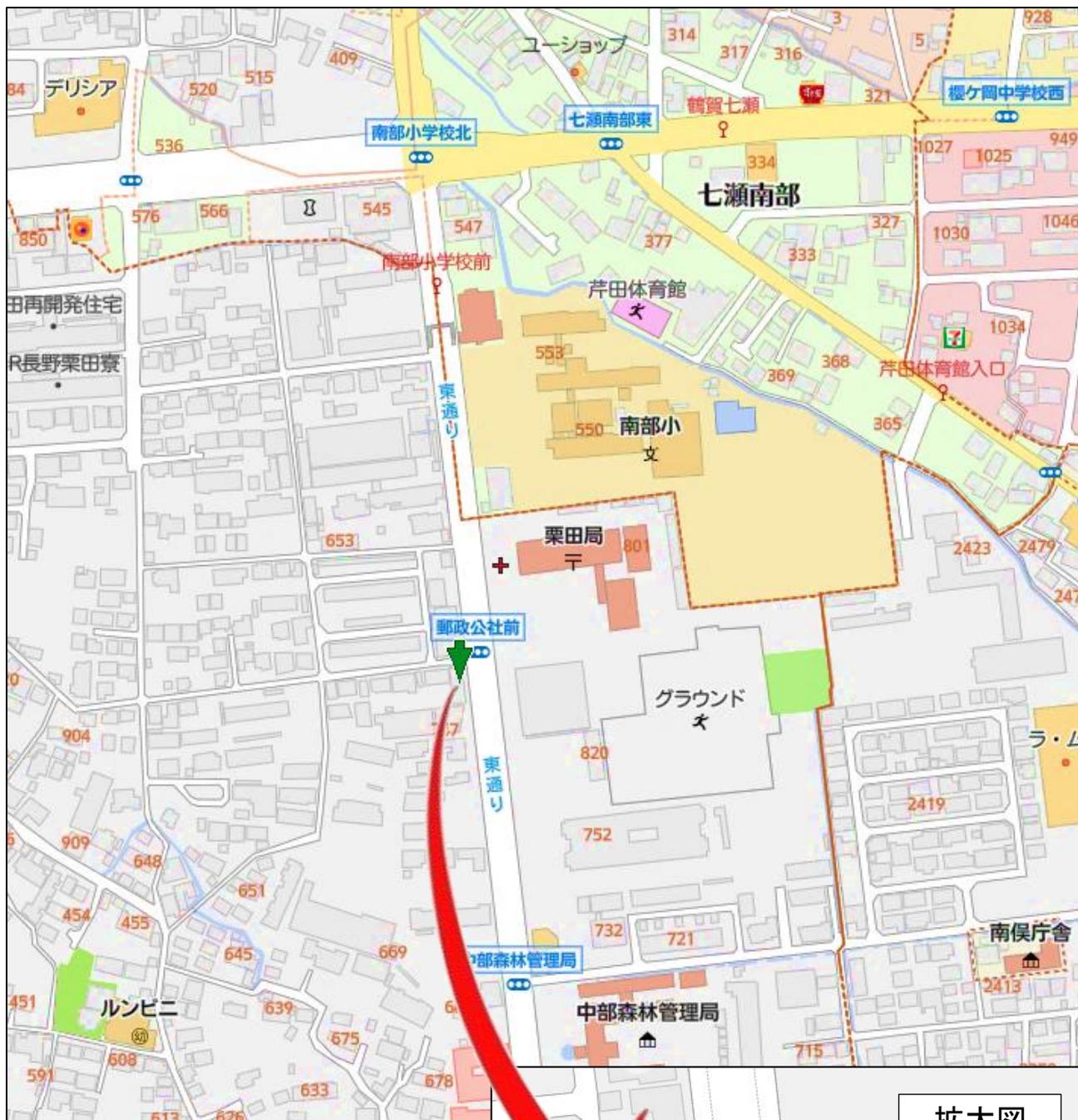
	所属・役職	氏名	前任地および新任地
転入	長野営業所 配電建設課 課長	河口 泰士	本社配電部 総括グループ スタッフ副長
	長野営業所 配電建設課 副長	市川 貴史	上田営業所 配電運営課 副長
	長野営業所 配電建設課 専任副長	丸山 英一	長野営業所 配電建設課 専任副長 (部署内業務変更)
	飯山営業所 所長	小山 如信	長野営業所 配電建設課 課長
	飯山営業所 配電課 課長	花岡 守	安曇野営業所 配電課 課長
	飯山営業所 配電課 副長	近藤 勝利	長野営業所 配電建設課 副長
	篠ノ井営業所 配電課 課長	武田 和徳	飯山営業所 配電課 課長
	篠ノ井営業所 配電課 副長	畠山 拓也	松本営業所 配電建設課 副長
転出	長野営業所 配電建設課 課長	小山 如信	飯山営業所 所長
	長野営業所 配電建設課 副長	岩田 好弘	長野支社 電力サービス部 配電建設課 副長
	飯山営業所 所長	中條 兼治	株式会社中電オートリース 出向
	飯山営業所 配電課 課長	武田 和徳	篠ノ井営業所 配電課 課長
	飯山営業所 配電課 副長	藤澤五夕生	松本営業所 配電運営課 スタッフ副長
	篠ノ井営業所 配電課 課長	浜 啓一	飯田営業所 配電建設課 課長
	篠ノ井営業所 配電課 副長	小山 竜司	佐久営業所 配電建設課 副長

(順不同 敬称略)

事務所移転のお知らせ

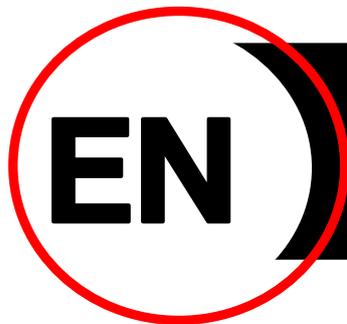
この秋、合同会社長野電気引込工事センターが下記に移転します。

※移転の具体的な時期は、後日メールでお知らせします。



移転先：長野市栗田「ホクセイビル」
QRコードでGoogleマップが開きます





EDITORIAL NOTE

長野支部通信 第 82 号の編集を終えて

総務委員

編集後記



総務委員 永井竹彦



委員長 湯本栄二



担当副支部長 伊東敬晃



副委員長 蟹澤佳治

『今、電話よろしいですか?』と毎回毎回、
聞いてくる人がいる。
相手が今、どんな状況なのか……を慮る気
遣いの人の演出なのかと思ったがそれでも無
いらしい。
思い起こせば携帯電話が出始めの頃、固
定電話からかける際のマナー的な常套句だ
ったのだ。

それはともかく、ひと言言いたい。
『電話よろしくない時は出ないから!』

総務委員 久保田 雅史



もっと便利で快適な暮らしに

ア イ セ グ

AISEG2

もっとつながる
もっとおまかせ
すまいの「できたらいいな」を
かなえる

大沢電機株式会社

昭和電機産業株式会社

株式会社デンセン

株式会社ニッセー電機

(五十音順)

ながの電材会